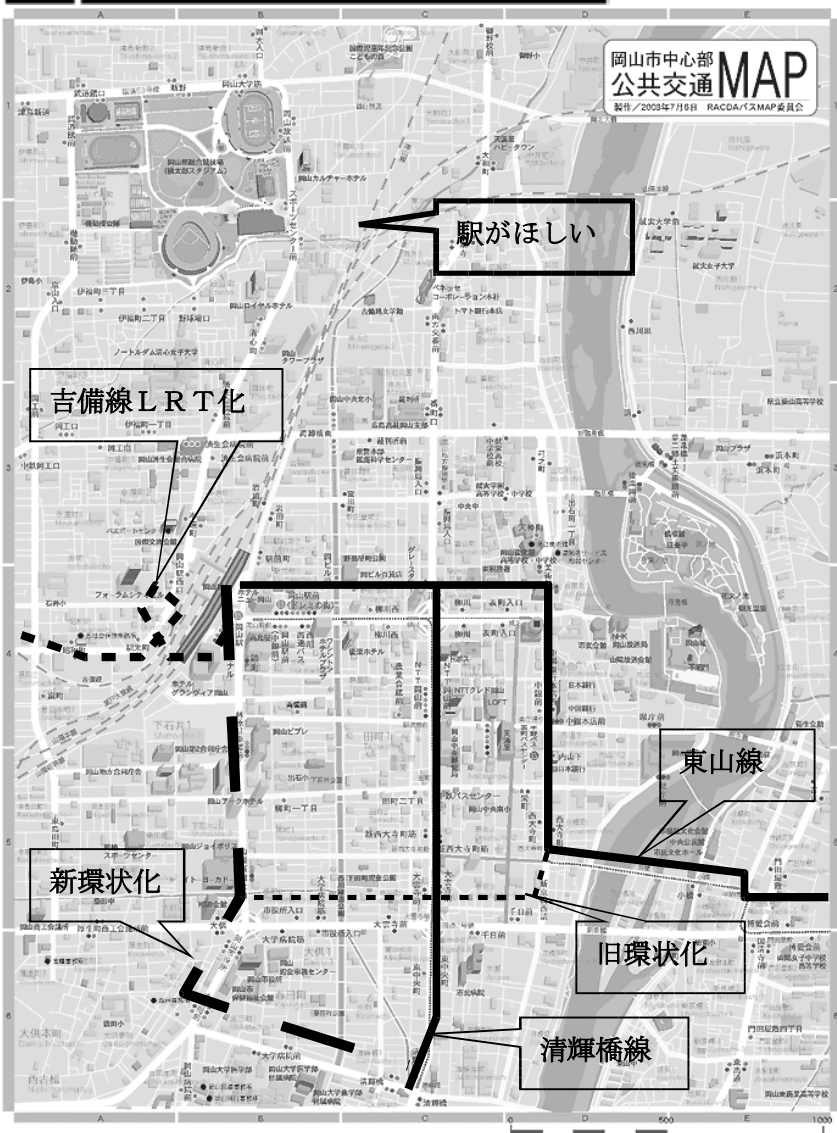




新・路面電車環状化 岡山商工会議所新提案の意義



一」がトレンドとなる時代となった。

■今回、岡山商工会議所が都心路面電車環状化プランの一部を手直しし、岡山駅から市役所、水道局、岡大医学部、清輝橋に結ぶという提案を行ったことは、現実的なプランとして、歓迎するべきものである。

■というのは、元々の環状化プランは明治時代からの課題であり、絵としては美しいが、RACDA自身も現実的な都市構造を考えると清輝橋線を利用した環状化も「第二環状化」と位置づけていたからである。

■吉備線LRT化についてもようやくJRとの本格的協議に入り、課題は財源をどうするかに絞られてきた。中四国一の交通結節点である岡山駅の特徴を生かして、都心の各地に路面電車で行けるようになれば、医療機関の充実する岡山のイメージとからめて、「日本一高齢者の暮らしやすい町」になることも夢ではない。そして社会的弱者である高齢者が暮らしやすいとは、すなわちすべての人々にとって暮らしやすいということでもある。

■来春には「交通基本法」が制定され、交通財源はガソリン税の暫定税率の一部が「環境税」となって、岡山のLRT建設のような先進的取り組みに優先的に配分されるよう、いま全国の仲間たちと奮闘している。自動車と道路によって日本経済は飛躍的成長を遂げてきたことも事実だが、ここで我々はその自動車の便利さを生かしつつ、「健康に良い、楽しく歩ける町」を作っていかなければならない。いわば岡山都心が毎月の「京橋朝市」のような空間になることかもしれない。

■岡山商工会議所が、「都心1kmスクエア構想」を発表してからはや16年、当時は今更路面電車でもあるまいと、世間の目は冷やかだったのだが、今や地球環境問題、本格的高齢化、都心活性化の必要性などがだんだんと理解されるようになり、富山ライトレールの開業で「コンパクトシティ

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15(禁酒会館3F) TEL&FAX 086-232-5502

E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp

RACDA

検索

